

研修名	専門課程 道路環境 [環境対策・道路空間利用等] 【集合】 (昭和 52～62 年度 : 「道路環境技術」、昭和 63～平成 26 年度 : 「道路環境」)					
目的・重点事項	道路行政の環境問題対応及び道路空間利用等に関する基本知識及び現状の政策課題に即した専門的知識までを幅広く修得させることを目的とする。 以下の点を重点項目とする。 ① 道路行政における道路環境対策及び道路空間利用等の推進に必要な行政上の幅広い知識の修得 ② 沿道環境問題、環境アセスメント制度等に関して、専門的かつ最新の知識の修得					
対象者	国土交通省、内閣府沖縄総合事務局、都道府県、政令指定都市、特別区、市、独立行政法人等の技術系職員で、道路に関する業務を担当し、次のいずれかに該当する者 ① 係長又はこれと同等の職にあると認められる者 ② ①の者と同程度の能力を有すると認められる者					
定員(人)	国土交通省	内閣府沖縄総合事務局	地方公共団体	独立行政法人等	団体	計
	10	1	7	2		20
研修期間	35.5時間 5日間			令和5年 6月 5日(月)～ 令和5年 6月 9日(金)		
カリキュラム内容 (予定時間)	1. 講義(22.0) ① 道路行政を取り巻く最近の話題 等 ② 道路分野における地球環境問題、道路環境アセスメント制度と今後の課題、大気汚染、騒音、振動、生態系の保護と開発 等 ③ これからの道デザインの考え方と進め方 等 2. 課題研究等(8.5) <参考>昨年度のテーマ等: 研修員を班分けし、次の①及び②のいずれか1課題を検討 ①歩行者利便増進道路(ほこみち)制度による道路空間利活用の手順を確認し、道路協力団体等の取組との連携方策や道路空間のデザインを検討する。 ②道路事業の実施中又は供用中に遭遇する環境にかかる課題について、その対応策を検討する。 3. 現場実習(3.0) 歩行者利便増進道路(ほこみち)の整備現場(横浜市道 日本大通り) まちの賑わい整備実施箇所(横浜市元町中華街、元町商店街) 4. その他(2.0) 入校式、修了式、オリエンテーション、ガイダンス <p style="text-align: right;">計 35.5</p>					
前年度からの主な変更点						
担当	建設部 環境安全技術研修官 (TEL:042-321-0645)					
備考	テキスト代(予定)32,000円 現場実習費(移動交通費)(予定)1,800円					